

# 「核兵器禁止条約」の早期締結を求める 署名活動に御協力ください

国際社会における核兵器の非人道性に対する認識の広がりや核軍縮の停滞などを背景に、平成 29 年(2017 年)7 月 7 日、「核兵器禁止条約」が国連加盟国の 6 割を超える 122 か国の賛成により採択され、多くの国が核兵器廃絶に向けて明確な決意を表明しました。同年 12 月には、条約採択への貢献などを理由に「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN) がノーベル平和賞を受賞しています。

平成 29 年(2017 年)9 月 20 日から各国による署名が開始され、令和 2 年(2020 年)10 月 24 日に、批准した国が発効要件である 50 か国に達しました。条約は、批准から 90 日後となる令和 3 年(2021 年)1 月 22 日に発効を迎えました。



核兵器禁止条約の制定交渉会議の様子

## 課題は？

この条約では、核兵器廃棄の期限や後戻りしないための措置などを、締約国会議で決めることとしています。今後これらの具体的な措置を検討するには、核保有国及びその同盟国の参加が不可欠であり、同条約を広く浸透させ、核兵器廃絶の推進力としていくために、署名・批准国の一層の拡大を図っていくことが課題となっています。広島市では、平和首長会議加盟都市等と連携し、引き続き取組を進めていきます。

## 条約の 主な特徴

条約は、被爆者(ヒバクシャ)の苦しみと被害に触れ、人道の諸原則の推進のために、核兵器廃絶に向けて被爆者などが行ってきた努力にも言及しています。

被爆者  
(ヒバクシャ)  
に言及  
【前文】

核兵器の開発、  
実験、使用、  
使用の威嚇など  
を禁止  
【第 1 条】

条約は、核兵器の開発、実験、製造、取得、保有、貯蔵、移譲、使用、使用の威嚇などの活動を、いかなる場合にも禁止しています。

条約は、定められた期限までに国際機関の検証を受けて核兵器を廃棄する義務を果たすことを前提に、核保有国も条約に加盟できると規定しています。

核保有国の  
加盟についても  
規定  
【第 4 条】

条約について  
話し合う会議  
を開催  
【第 8 条】

条約は、その運用などについて話し合う締約国会議や再検討会議を開催するよう定めており、いずれの会議にも、条約に加盟していない国や NGO などをオブザーバーとして招請するとしています。

【作成】

広島市市民局国際平和推進部平和推進課

〒730-8586 広島市中区国泰寺町 1-6-34

電話：082-504-2898 Eメール：peace@city.hiroshima.lg.jp

# Support our petition drive calling for all states to join the TPNW as soon as possible!

Against the backdrop of globally growing awareness of the inhumanity of nuclear weapons and the stagnation of nuclear disarmament, on July 7, 2017, the Treaty on the Prohibition of Nuclear Weapons (TPNW) was adopted by 122 countries—over 60 percent of UN member states. These countries demonstrated their unequivocal determination to achieve nuclear abolition. In December of the same year, the International Campaign to Abolish Nuclear Weapons (ICAN) was awarded the Nobel Peace Prize for its contribution to the successful adoption of the treaty.

The treaty opened for signature on September 20, 2017. On October 24, 2020, the number of states that had ratified the treaty reached 50, fulfilling the requirement for its entry into force. On January 22, 2021, 90 days after the 50th ratification, the treaty formally entered into force.

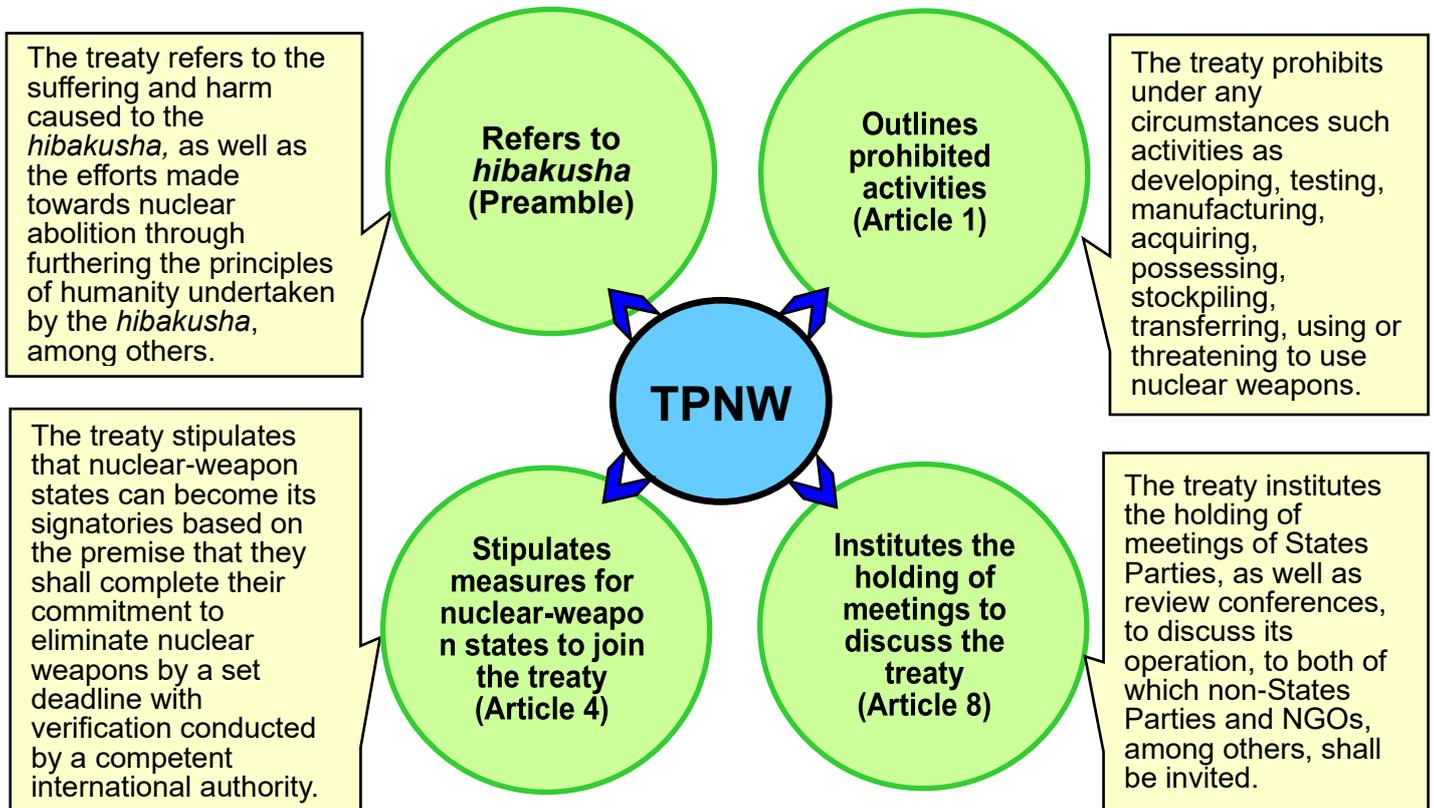


Conference negotiating a treaty on the prohibition of nuclear weapons

## What challenges do we face?

Measures for time-bound and irreversible elimination of nuclear-weapon programs will be decided at the meetings of States Parties. Moving forward, the participation of nuclear-weapon and nuclear-umbrella states is crucial in exploring the specifics of these measures. A key challenge is how to facilitate universal ratification by increasing recognition of the treaty and making it a force for nuclear abolition.

The City of Hiroshima will continue to work with Mayors for Peace and other entities to advance this goal.



Created by the Peace Promotion Division, the City of Hiroshima

1-6-34 Kokutaiji-machi, Naka-ku, Hiroshima 730-8586

Tel: 082-504-2898 Email: [peace@city.hiroshima.lg.jp](mailto:peace@city.hiroshima.lg.jp)